

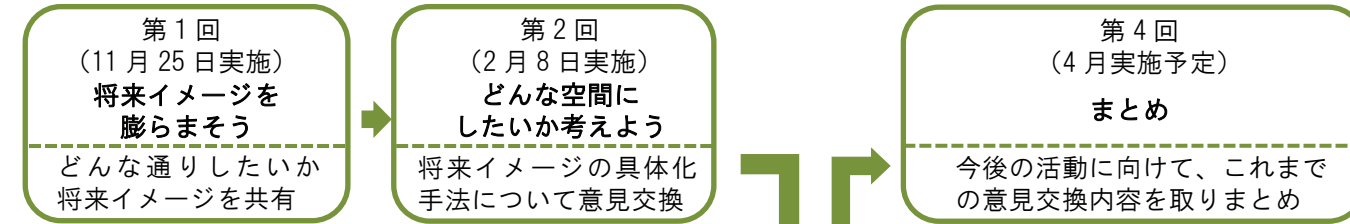
# 「あさひふれあい通りの空間を考える」 ワークショップを開催します！

第3回

あさひふれあい通りの空間のあり方について、ワークショップを開催しています。第3回ワークショップでは、これまで頂いた意見を参考にして、舗装などの道路整備と沿道関係者の取組が一体となった通りの空間づくりについて話し合います。第3回からのご参加も大歓迎です。ぜひご参加ください。

## ワークショップ概要

4回のワークショップを通じて、あさひふれあい通りの空間のあり方について、みなさんと話し合う予定です。今回は3回目となります。



第3回  
(3月10日)  
道路・沿道の一体的な空間づくりについて考えよう

### ①オリエンテーション

・これまでの振り返り ・進め方の説明

### ②グループワーク

#### ○道路整備について

・舗装など、道路の整備案を提示し、これをたたき台にして参加者で意見交換を行います。

#### ○道路の整備と沿道関係者の取組が一体となった通りの空間づくりについて

・歩行者を通過させるだけでいいのか、通りの利用者のターゲットは誰か、どんな利用をしたいか、して欲しいか、そのために沿道関係者にできる取組（建物の外観や看板など）は何か等について意見交換を行います。

#### ○維持管理や運営について

・沿道関係者が協働する通りの管理や、利活用に関するソフト対策・通りのルールづくりに向けての意見交換を行います。

これまでの振り返りを行いますので、第3回からのご参加でも大丈夫です！

■と き：3月10日(木) 14時00分～16時30分

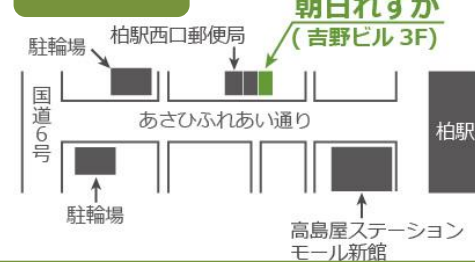
■と ころ：朝日れすか

千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F

■参加方法：下記申し込み先まで、FAX、電話、e-mail でご連絡ください。

■申込期限：3月9日(水)

### 会場地図



### 申し込み先・参加申込書

※FAXの場合は切り取らずそのまま送信してください。

柏市 都市部 中心市街地整備課 担当 石戸(いしど)・小島(こじま)

電話：04-7167-2354 FAX：04-7167-2266

e-mail：chushinshigaichi@city.kashiwa.lg.jp

お名前/店名： \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

電話(携帯)： \_\_\_\_\_

e-mail： \_\_\_\_\_

ご住所： \_\_\_\_\_

※お手数ですが、参加申込書をご記入の上、FAXでお申し込みください。電話、e-mailでのお申し込みも大歓迎です。

※お申込みいただいた後、担当者より必要事項を確認させていただく場合がございます。予めご了承ください。

# 「あさひふれあい通りの空間を考える」 ワークショップを開催しました！

第2回

平成28年2月8日(月)に、第2回ワークショップを実施しました！第1回ワークショップで共有した将来イメージを実現するための手法について、あさひふれあい通りの地図を広げ、参加者のみなさんで意見交換を行いました。

## 第2回ワークショップの流れ

### ①オリエンテーション

・進め方の説明  
↓  
第1回の振り返り

### ②グループワーク

・グループワーク①

インタビュー調査や交通量調査結果を受けて、意見交換

・グループワーク②

将来イメージを実現するために、実際にどんな空間にしたいかを地図上で意見交換

外の人からはどのように思われているの？



輪になって意見交換を行いました！

ワークショップ風景

## グループワーク①の結果概要

平成27年10月7日(水)に行った交通量調査及び、あさひふれあい通りを通行する歩行者(外部)及び、沿道関係者を対象に行ったインタビュー調査の結果を報告し、意見交換を行いました。インタビュー調査では、あさひふれあい通りは、「にぎわいがある」、「歩いていて不安だと感じる」、「雑然とした街並み」といった印象が強いことが分かりました。また、今後に向けては、「落ち着いた通り」、「安心して歩ける通り」などが求められていました。主な意見は、以下の通りです。

### グループワーク①での主なご意見

○外部評価で期待されている「落ち着いた通り」とは具体的にどんな通りなのか、イメージを共有する必要がある。  
→「落ち着いた」イメージとは、一般的な感覚によるところも大きいと思われる。**あさひふれあい通りとしてどういったイメージ付け**を行っていくかをこれから話し合おう。

○10カ年計画の中で、いつ、誰が、何をやるのかについて、具体的に意見交換を行っていくべきではないか。  
→**道路舗装だけではなく、建物の外観や看板、通りに面した店舗の作り方など、自分たちで取り組むこと、通りの利用方法やルールと一体となった通りとしての取組み**をしていこう。10年後に計画を作るのではなく、通りの将来イメージを共有し、早期にできることから取り組もう。

○通りの将来イメージ、方向性を話していくのに現状のテナント情報等も欲しい。  
→今あるデータを元に、テナント等の情報を整理し、次回提示。

中面見開きへつづく→



## グループワーク②の結果概要

第1回ワークショップにて共有した通りの将来イメージ「歩行者優先」、「安全確保」、「車両規制」、「緑を増やす」、「夜間のイメージアップ」を具体化するための手法について、地図や断面図にアイデアや意見を出していきました。以下に結果の概要を示します。

### グループワーク②での主なご意見

#### 歩行者優先、安全確保について

##### ○舗装について

- ・がたつきの原因となるブロック舗装は避けるべき。
- ・明確に白線で分離すると、逆に車道内でスピードを出す自動車が出る可能性もある。

##### 【これから検討すること】

- カラー舗装等による、**広い歩行空間の確保**
- 舗装の視覚的なはみ出しや線形の変化（曲げるなど）による**自動車の速度抑制**
- ・交差点部では、路地から入ってくる自動車や自転車との交通事故も発生している。
- ・逆走する自動車も多く、一方通行の明示等、対策が必要である。

##### 【これから検討すること】

- 交差点部の舗装のカラー化等による**自動車の速度抑制**
- 一方通行の明示方法

##### ○電柱・電線について

- ・電柱を避けるために歩行者は車道を通行しなければならない。**歩行者の安全性確保**のためにも、電柱を地中化できないか。
- ・また、電線も「雑然さ」の原因となっているのではないかと。防災面からも高圧線が危険である。

##### 【これから検討すること】

- 電線類の地中化と地上機器の沿道側との協働による設置

#### 車両規制について

- ・駅側の歩道がある区間に停止車両が多い。荷捌き車両だけでなく、塾生徒の送迎もある。

##### 【これから検討すること】

- 将来的な歩行者天国化に向けて、**時間帯規制などによる流入車両に対するルールづくり**

#### 緑化について

- ・道路に樹木を植えるのは、かえって雑然とした印象となるのではないかと。

##### 【これから検討すること】

- 第一駐輪場の敷地は、ちょうど駅側や国道6号側から視線が集中する箇所となるため、**シンボルとなる樹の植栽**
- 沿道では、**統一したプランターの設置等**を「1店舗1みどり運動」として実施

#### 夜間のイメージアップについて

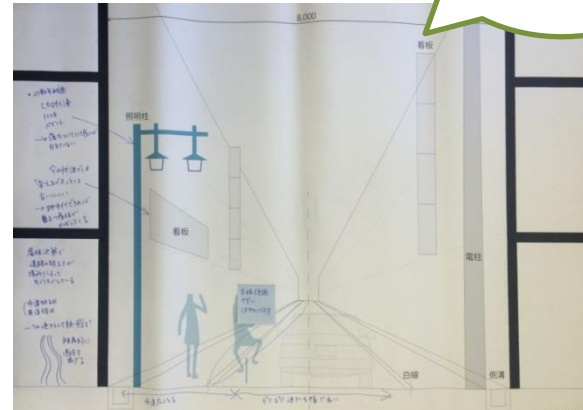
- ・現状の照明柱は落ち着いた印象で気に入っているが、明るさが目立たない。
- ・店舗の明かりで場所によって明るさがチグハグしている。

##### 【これから検討すること】

- 通りとしての夜間照明の方向付け→次回意見交換
- あさひふれあい通りにしかない、**通りのシンボル**となるような照明手法

安心 安全

断面図での意見交換を行いました！



地図上での意見交換を行いました！

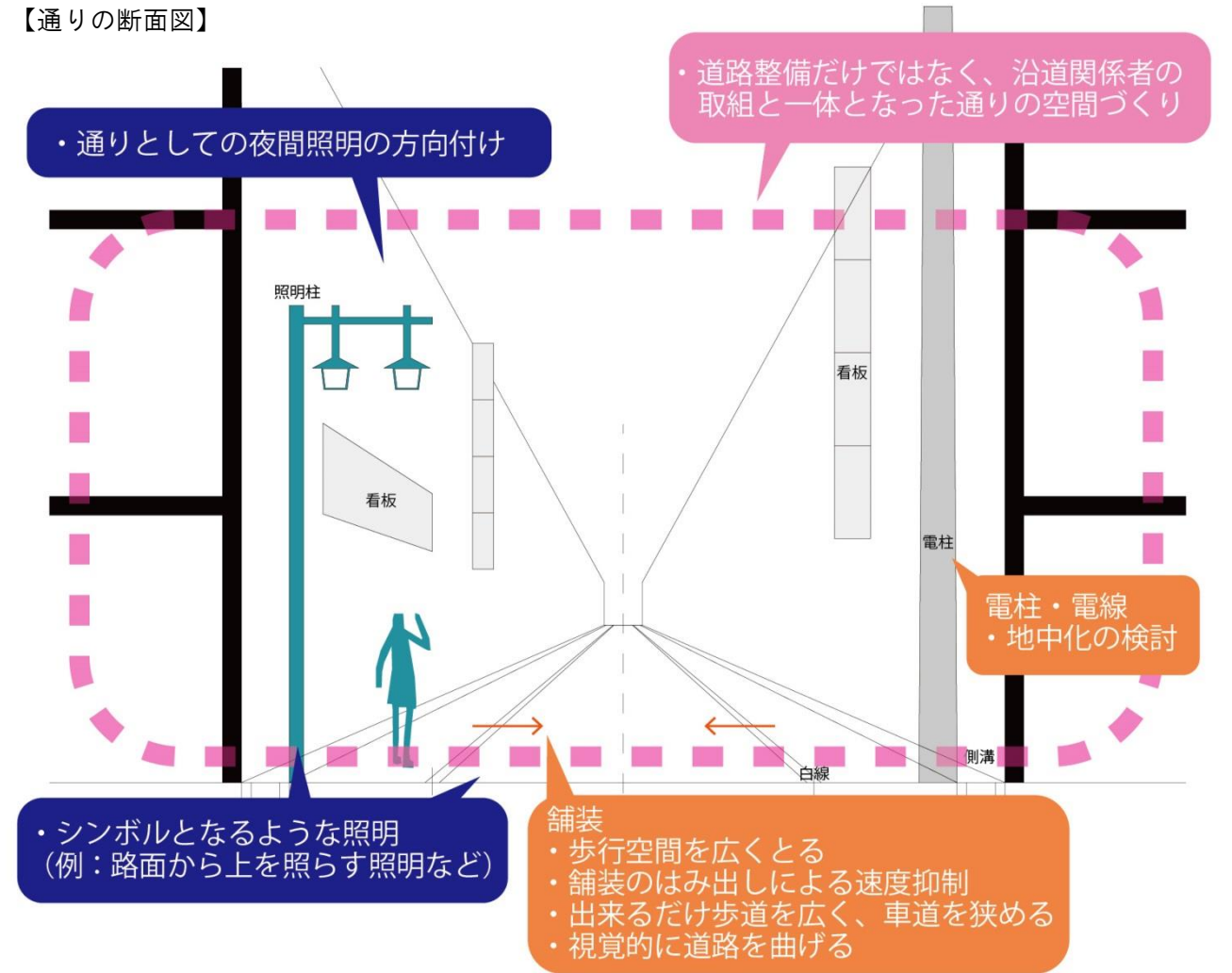


## これから検討することのまとめ

第2回ワークショップでの意見を基に、これから（第3回ワークショップ以降）検討すべき事項を以下にまとめました。

- 歩行者優先・安全確保
- 車両規制
- 緑化
- 夜間のイメージアップ
- 一体的な通りづくり

### 【通りの断面図】



### 【通りの平面図】

